

25, August

英語を楽しく

- ☆ 英語活動ってね、教師も児童も ①楽しく②無理なく③気持ちよく
- ① 楽しく～ 自分もできる・やってみたいと思うゲーム・歌・とダンスで。
 - ② 無理なく～ 聞き慣れたことばを使って。
 - ③ 気持ちよく～ 誰もが活動してよかったですと思ふ結果に。

☆ ALT とのデモンストレーションのために

- ① 活動中に必要な文は前もって書いて。

○ 大きく見やすいもの

→ ALT・担任・児童（担任の指示で

児童に読ませる時は児童が文に関心
があるとき）。

- ② 目に見えるものを会話中に使う。

（ALT や担任との動作も含む）

“Which car is bigger ?”

“This one.”



ALT	担任
How old is Hakucho	“It's about elementary school ?”

130 years old.”



「ぼくもいいた～い。」「わたしもいいた～い。」

☆児童の活動が生き生きするために

- ① 児童が英語活動時に使う文のみ英語で。
(ゲームの仕方や約束は日本語で)

- ② 英語で言えない場合、日本語でもよいこと。

(ただし、担任は児童が言った後、

『〇〇』は△△と英語

でいうんだよね。」

と優しく一言。

『めだまやき。』は

英語で suuuy - side up egg ね。

Yoshi,OK good.】

“ What did you have
breakfast , Yoshi ? ”



「朝、何を食べたの？」

と聞いているみたいなので…。

「えーと、めだまやき。」

「suuuy - side up egg かあ、



「ぼくもおぼえたよ。」

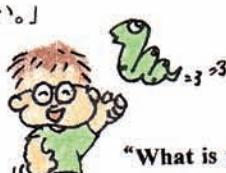
「わたしも。」

- ③ ゲーム・歌・ダンス中での失敗は恥でないことをしっかり教えておく

「あっ、惜しい。もうちょっとで正解。」「It's a Sumeru.

あっ、まちがえたみたい。」

「気にしな～い。」



“What is this, Kotaro ? ”

Yoshi